

# プレ・エンカウンター( P R E ・ E N C O U N T E R )

第 3 号

平成 14 年 3 月 30 日

ルツ・エルマー先生の文集より ( 9 )

振り返って、感謝しなさい

前を見て、希望を持ちなさい

上を見て、へり下りなさい

下を見て、助けてあげなさい

( あるクリスチャン実業家の社内モットー )

人の窮境は神の機会。

神は、神を愛するたち、すなわちご計画に従って召されたものとともに働いて、万事を益となるようにして下さることを、私たちは知っている。

( ローマ人への手紙 8 : 2 8 )

心を尽くして主に信頼せよ、自分の知識に頼ってはならない。すべての道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。

( 箴言 3 : 5 , 6 )

エルマー先生の文集より（１０）

ブリタニア（イギリスの南部地方）の漁師は、海へ船出するときに、次のような簡素な祈りをします。

「神様、私を守ってください。私の船は小さく、海は広いのです。」  
とても美しい言葉ではありませんか。これは私たち神様の子供すべてが、人生の旅をするときに、毎日となえるのにふさわしい祈りです。

「私の船は小さい。私は弱く、頼りなく、あなたの愛のやさしさを忘れがちです。世の荒海にゆられて、もしあなたの助けがなければ、私は滅んでしまいます。神様、私を守ってください。あなたの海はとても広いのですから。」

## 新しい家

イエス様はここに来て、ここに居て頂きましょう  
私たちのテーブルを大事なお客様のために用意しましょう  
ランプをともし、だんろを暖かく広く作りましょう  
ここであの方に宿と食べ物と休息を差し上げましょう

あの方は私達と火にあたってお話なさるでしょう  
あの方はどんな仕事の時でも私達と歩かれるでしょう  
私達はどんな願いも打ち明けることができます  
大きいことも小さいことも何でも尋ねることができます

なぜならあの方は私達と一緒に住み、身内なのだから  
邪悪なことはお聞かせしないようにしましょう  
なぜならあの方の振る舞いは優しく丁寧なのだから  
私達も態度や言葉づかいに気をつけましょう

これは私たちの新しい家です、主よ、あなたがあるじです  
私達は喜んであなたと一緒に質素な食事を頂きます  
テーブルについて、私たちのパンをさき、祝福して下さい  
私達をあなたとの交わりにふさわしいものにして下さい。

以下の文章は、山口周三が、昭和 56 年ごろ書いて、当時エルマー先生バイブル・クラス便りとして、三本木健治さんによって発行されていた、「LAMP LIGHT ともしび」と言う題の数ヶ月に 1 回発行されていた文集にのせて頂いたものです。エルマー先生のバイブル・クラスの雰囲気を知って頂くのに参考になるうかと思しますので、ここに掲載させていただきます。

## バイブル・クラス新入生の感想

山口 周三

私は、今年（昭和 56 年）の 2 月以来、金曜日の夜エルマー先生のお宅で開かれているバイブル・クラスに出席させていただいております。

私は、もともと高円寺東教会の小西芳之助先生から聖書を教わったものですが、小西先生は、昨年（昭和 55 年）4 月 9 日召天されました。その年の 12 月に召天記録「そのときの喜びや如何」の発刊記念会があり、そのとき長谷川進一さんの隣に座ったところ、同じ職場に勤める三本木健治さんが、熱心なクリスチャンであることを教わりました。三本木さんは、よく存じ上げておりましたので、早速色々キリスト教のお話を伺いました。三本木さんから、エルマー先生のバイブル・クラスへの出席を勧められましたが、そもそも英語で聖書のお話を聞いてもよくわからないだろうと思って、なかなか乗り気にはなれませんでした。ところが本誌「ともしび」の旧号を頂いて、読んで見ますと、何か大変暖かい雰囲気を感じて、2 月から加えて頂きました。

ちょうどそのころエルマー先生は、ヨハネ伝の決別遺訓のあたりをご講義中でありましたが、まことに明快で福音の信仰に満ちあふれた素晴らしいお話を聞くにつけ、すっかりバイブル・クラスのとりこになってしまいました。イエス様が、12 弟子に決別遺訓をお話になられたのは、丁度このバイブル・クラスのような少人数を相

手にした家庭集会だったろうと思い、テープレコーダーも活字もない時代に、イエス様が語られた同じ話が約1950年を経て、同じような姿で語られていることに大変感銘深く感じました。

エルマー先生のお話は、お声が大変きれいで、優しい単語を選んでお話くださるので、普段英語を聞くことはほとんどない私のようなものにも、大変わかりやすいこと、第2に、聖書に忠実で、イエスの教えを、確信とやさしさとユーモアもってお話下さること、第3に、お宅でのバイブル・クラスは、豊岡さんの紅茶とケーキのサービスがあり、大変なごやかで at home な雰囲気にあふれていること等の特徴があります。

いつも大変感銘を受けることが多く、こんなにわかりやすく、迫力のあるお話は、日本中探しても、滅多に聞けるものでないと感じることがよくあります。

小西先生も、エルマー先生のバイブル・クラスの生徒だったことがあり、小西先生は毎月の伝道誌「よろこび」の巻頭英文のチェックをエルマー先生より受けていたことを知ったこと、小西先生の親友で元本所緑星協会牧師広野捨二郎氏夫人広野馨さんも毎週熱心に出席されていること、小石川白山、本所緑星、ロゴス、信愛、大久保伝道所など諸教会の熱心な信徒が出席しており、その交わりから得る所も大きいことなども、エルマー先生のバイブル・クラスを大変親しみ深いものにしてくれました。新入生の一人ではありますが、旧知の仲間に加えていただいたような感じで、いつも楽しくバイブル・クラスに出席させていただいております。